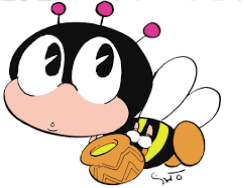


ゆきの灯り

第58号

令和3年11月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生体学習マスコット：マナビイ



キノコ観察会を開催

10月16日(土)に大人の教室として初めてキノコ観察会を行いました。講師はキノコアドバイザーの朽木孝一先生です。8月は雨が降ったのですが、9月中旬以降雨が降らず、キノコも休憩気味です。山は赤木卓司さんの持山を開放して頂き、さらに林道の草刈りも行って頂きました。感謝です。

林道わきの駐車場で、参加者の名とスタッフ2名へ朽木先生からキノコ採集の注意事項を受け、山に入りました。頂上付近はなだらかな地形で、赤松とどんぐり類の混合林です。参加者はそれぞれのペースでキノコ採集を楽しみました。乾燥した山にはキノコが少なく、見つけるのに苦労しましたが、1時間半後に駐車場へ全員が無事下山しました。

コミセンの研修室で、採集したキノコを机に並べ、弁当タイム。その間、朽木先生はキノコの鑑定です。鑑定終了後に、参加者全員が机の周りに集まって朽木先生の解説を聞きます。今回は、採集したキノコ35種の種名と食菌、毒キノコ、食毒不明を教えてくださいました。状態が古くて種名が判別できないキノコもありました。特に7種の毒キノコは詳細な解説を受けるとともに、食菌7種についても解説を受けました。参加者からは山歩き



や探す楽しさ、キノコの名前がわかり勉強になったのと。また、山によって生えるキノコの種類が違うことを知り、来年は自分の山のキノコも持って参加したいとの声がかれました。



キノコ見つけ!

ヤマドリタケモドキ

を知っていますか?

秋になるとアカナバ(サクラシメシ)、コムソウ(ショウゲンシ)、ミミタケ(オオムラサキアンズタケ)は昔から食され、人気の雑キノコですが、香りがよく**ポルチー**としてイタリア料理に使うヤマドリタケモドキを9月に見つけました。



講師の朽木先生

キノコ狩りの服装
長袖・長ズボン・帽子。蜂は黒に反応するので、白っぽい服が良い。頭を白い帽子で覆う。靴は動きやすい運動靴か長靴。



ヤマドリタケモドキ



柄の網目模様

ヤマドリタケモドキはイグチ科ヤマドリタケ属に分類され、食用にされるキノコ。フレッシュなものはナッツのような濃厚な風味を、乾燥されることで醤油のような独特の香りを発します。栽培ができない菌根菌でブナ科の樹木が多い林に単く群生します。傘は2センチにも達する大型のきのこ。表面はビロード状で、色は暗灰褐色からち黄褐色。裏の管孔(無数の穴)は初め白色のち淡黄色。柄には写真のような網目模様があります。ドクヤマドリというイグチ科の毒キノコがありますが、高山が寒冷地にしか生えないため油木では間違えることはありません。ドクヤマドリは柄に写真で示した網目模様がなく、区別できます。

令和3年度協働のまちづくり事業助成 前期 審査会 結果報告

- ◎城山自治振興会 1 可決
LED 防犯灯工事
申請理由：既設蛍光防犯灯6カ所をLED防犯灯へ取替
助成金額：268,000円
- ◎城山自治振興会 2
電気設備改修工事
申請理由：城山集会所の電気容量不足による停電の解消
助成金額：123,000円
- ◎いちば自治振興会
防犯灯設置工事
申請理由：防犯灯を設置し、歩行者の安全を確保する。
助成金額：45,000円
- ◎小野自治振興会
まめまめクラブ用備品整備
申請理由：クラブ活動のため、和座椅子12脚と炊飯器購入。
助成金額：74,000円

「ゆきなび」活動再開

- 「新型コロナウイルス緊急事態宣言」の影響で予定されていた活動が休止・延期状態となっていた、「ゆきなび」が久しぶりに再開され、秋の生涯学習活動が動き出しました。
- 大人の教室
- スカッシュレッスン(10月17日)
郡司孝一先生の指導で、7月25日以来の心地よい汗を流しました。
- アートクラブ(10月25日)
若林佐都子先生の指導で、「秋の花」をテーマに色鉛筆画を作成しました。
- 油木キッズ
- グラウンドゴルフ(10月16日)
前原一始先生と南油木自治振興会の皆さんの指導で、ルールを学びながら楽しい時間を過ごしました。
- お茶教室(10月23日)
小田緑先生と女性会油木支部の皆さんの指導で、茶道の所作・作法を学びました。



グラウンドゴルフ



スカッシュレッスン



お茶教室



アートクラブ

天徳寺 襖絵「堅香子図」と共に「エスタシオン」が奏でる音楽鑑賞会



12月5日(日)

開演：13時半

会場：小野 天徳寺本堂

入場料：500円(お茶とお菓子付)



三樹正典作

チケットは油木協働支援センターまで。

文化イベントチーム

地域教育資源の活用を！！

10月4日(月)に開館した「にしかわ化石館」。
開館早々、三和小学校5年生(10月7日)と油木
小学校2年生(10月15日)を迎えました。

三和小学校は「理科」、油木小学校は「生活科」
での学習と、教科や目的は違いましたが、両校の
児童は化石館の尾森武尊先生から化石・鉱物につ
いての説明を聞いたり、展示された多くの化石を
見たり実際に触れたりしながら、充実した学習の
時間を過ごすことができました。

三和小学校からの手紙(一部抜粋)

- 鉱石の実物を見るのは初めてなので、少し驚きました。西川さんが一生懸命集めてくださったおかげで、私たちは化石や鉱石を見ることができました。
- 昔の葉っぱのあともきれいに残っていたので、びっくりして興奮しました。
- いつか自分でも化石を見つけないかと思いましたが、これからは、もっと地域のことを知ろうと思います。
- この町の知らない所がまだまだたくさんあると思うので、それを見つけて学習していきたいと思っています。
- 化石について学ぶことができ、さらに触れることもできる化石館はすごく楽しかったです。
- 化石も発掘できることが分かって、家の畑とかを掘ってみようかなと思いました。
- 油木小学校からの手紙(一部抜粋)
- いろいろな化石を掘り出したことがすごいです。
- 化石館に行って楽しかったです。うれしかったです。また行ってみたいです。
- 化石館ができて本当によかったと思います。

一部の感想しか紹介できませんが、児童は「化石館訪問」を通じて、神石高原町の魅力を発見してくれたのではないのでしょうか。

化石は子どもたちに何を語ったのだろうか？



「にしかわ化石館」
開館 毎週：月・水・金 (祝休日を除く)
11:00~19:00
電話 にしかわ 050-5535-0955
開館日以外の問合せ
油木協働支援センター 82-0701

また、油木小学校来館の際には「NHK広島放送局」「中国新聞社」「毎日新聞社」の取材が入りました。
化石館としてマスコミを迎える側の緊張を尻目に、児童は実に堂々とした態度で学習し、マスコミの取材にも応じていました。
「にしかわ化石館」は、マスコミ報道やロケを通じて、おかげさまで開館日には町外からも多くの来館者を迎えています。
一時のブームで終わらせないことなく、「にしかわ化石館」を通じて、「まちづくり・地域づくり・生涯学習」を推進していきたいと思えます。
まずは、町内の皆さん、是非一度「にしかわ化石館」へお越しください。

第3回軽トラ掘り出し市開催



11月3日(水)文化の日、今年度最後の「ゆき軽トラ掘り出し市」を油木百彩館駐車場で開催しました。
当日は朝から天候にも恵まれ、会場は開店前から野菜・雑貨・骨董品等の商品を求める多くの人で賑わいました。
また、今回も油木高等学校の生徒が高校生レストランとして、「ナマズのフィッシュ&チップス」の販売を行いました。
13時過ぎには完売したそうです。
毎回、いろいろな工夫をして販売される「ナマズ」。取り組みが軌道に乗り、油木高校と神石高原町活性化起爆剤となることを願っています。
本年度の「ゆき軽トラ掘り出し市」に協力いただいた皆様に、改めてお礼申し上げます。
ありがとうございました。



そば打ち体験教室



年越しそば打ちの練習をしませんか？
今年も名人の指導で美味しい「そば作り」に挑戦しましょう！
◇講師 前原孝史さん
◇日時 令和3年12月6日(月)13日(月) 9:30~12:00
◇会場 油木協働支援センター 食品加工室 ◇定員 5名
◇参加費 1800円(材料費2回分) ◇持参物 エプロン・三角巾・タオル・マスク
持ち帰り用の粉も別途購入できます。 麵鉢(大き目のボール可) 麵棒(直径3cm長さ90cm)

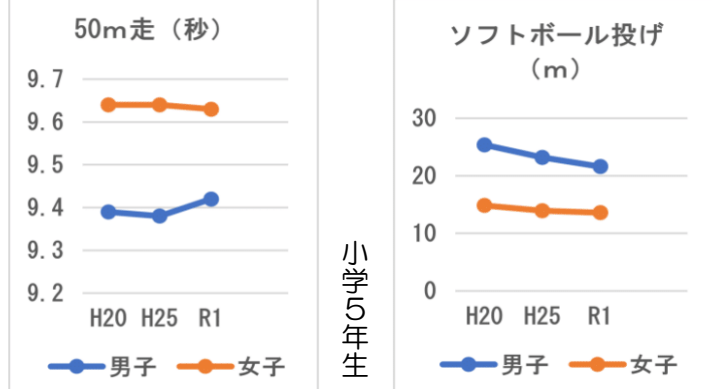
大人のアートクラブ



年賀状の準備をしませんか？
世界でひとつだけの消しゴムハンコで
手作り年賀状を作成しましょう。
◇講師 若林佐都子さん
◇日時 令和3年12月1日(水) 13:30~16:00
◇会場 油木協働支援センター支援センター分室「にしかわ」
◇定員 5名
◇参加費 300円 ◇持参物 彫刻刀・マスク

子どもたちの体力が低下しています。「出典：文部科学省」

子どもたちが、外遊びや運動・スポーツで身体を積極的に動かすことは、子供の成長にとって大切です。
身体を動かすことによって得られる体力は、人間の活動の源になるものですが、子どもたちの体力は低下してきています。
さまざまな外遊びや多様なスポーツ活動を通じて、基礎的な体力や運動能力を身につけさせましょう。
同時にスポーツなどで身体を動かす楽しさや喜びを体感させ、運動・スポーツに主体的に取り組む態度を養いましょう。



資料
全国体力・運動能力調査
令和1年 スポーツ庁

